



【第7回】

誰もが参加したくなる自治活動はコレ!?

～意外とオモシロくて、実はとってもオトク～

西京をより良いまちにするための、出会い・交流・語り合い・学び合いの場「ふらっと・西京」。第7回は「誰もが参加したくなる、自治活動はコレ!?!～意外とオモシロくて、実はとってもオトク～」をテーマに開催します。

今回は、ゲストとしてお越しいただく3人の方（裏面参照）のお話しを、3つのグループに分かれて聞いた後、そのお話しも参考にしながら、テーマについて語り合ってくださいこととしています。

3人のゲストは、いずれも劣らぬ魅力的な活動に取り組まれている方ばかり。目からウロコが落ちること請け合いです！

たくさんの方のお越しをお待ちしています♪



日時

7月30日（火）
午後7時～

場所

西京区役所会議室

参加費

300円（茶菓代）
（学生の方は200円）

主催

西京区まちづくり推進協議会

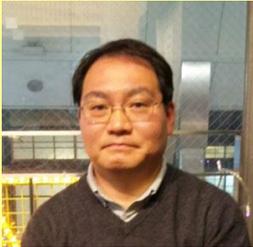
お問い合わせ

京都市西京区役所地域力推進室
まちづくり推進担当
（西京区上桂森下町 25-1）
☎075 - 381 - 7197

第7回 いらすと・西京

ゲストのご紹介

太田 興氏 [防災寺子屋・京都代表]



西宮に住んでいた際に阪神大震災に遭遇。その体験を踏まえて生まれ育った京都で自主防災活動に参加する。災害で被害を受ける市民自身が、災害の恐ろしさ、身近な危険に気づかなければ、主体的に対策を立てることはない。その「気づき」の機会を提供するのが自主防災活動の第一歩と考え、分かりやすい説明を心がける。

説明では、地殻にひずみが蓄積される様子を「積立式定期預金」に例え、地震の規模比較は数字ではなく「牛乳瓶」「ドラム缶」で表現し理解を促す。またバケツが足りない状態での初期消火訓練など、準備された訓練ではなく本番を意識した応用訓練を目指す。さらに発災時、自分たちの生命・財産を守るためには、活動可能な人はすぐに避難所に向かわず地域で救助や消火を行う、いわば「闘う防災」を提唱し、災害対応に向けた知識蓄積と技術向上を呼びかけている。

伊豆田 千加氏 [NPO法人 子育ては親育て・みのりのもり劇場理事長]



2007年、息子が通う幼稚園で出会った保護者仲間と「みのりのもり劇場」を設立。子ども・親・地域・企業・行政等、多角的なアプローチから子育て支援活動を展開している。地域の人と人をつなぐフリーペーパー『右京じかん』や、路面電車をパトカーカラーに塗装して住民の意識啓発に取り組む『嵐電パトトレイン』のほか、商店街のコミュニティスペース『キネマ・キッチン』を地域のお母さんを起用して運営するなど、枠にしばられないバラエティに富んだ活動がみのりのもり劇場の特徴と言える。人材育成にも定評があり、独特の視点を活かした切り込みで、大人、子どもに関わらず「人」の持つポテンシャルを引き出すことを得意とする。大阪芸術大学非常勤講師や商店街振興組合専務理事、右京区まちづくり区民会議幹事、法務省保護司(西京区保護司)などなど、多数のわらじを履き、右京区を拠点に活躍中。

紙本 明子氏 [NPO法人 フリンジシアタープロジェクト] / [劇団衛星]



京都造形大学陶芸科卒。『劇団衛星』所属。舞台を中心に女優として活躍。

主な出演作品は舞台『劇団衛星の cockpit』、毎日放送『ちちんぷいぷい「ぶい正月」』、CM『サポート』、映画『パッチギ!』など。概ね 300 席以下の小劇場を指す「フリンジシアター」の普及、活性化を目的として結成された「NPO法人 フリンジシアタープロジェクト」にて、演劇ワークショップを展開。大阪大学特任研究員。

「フリンジシアタープロジェクト」では、人材・ノウハウともに不足しがちな「制作」業務のサポートを行う一方、舞台芸術になじみのない方を対象としたワークショップを展開。小学校の授業や企業研修に演劇の要素を取り入れる試みを実施し、右京区京北地域で行っている合宿型の演劇ワークショップ「地球を学ぶ！子ども環境劇場 in 京北」の活動において、京都府の環境保全功労者賞を受賞している。